旧中西家住宅　　吹田市指定有形文化財　　　江戸時代後期（１８２６年頃）

　　現存建物　主屋、長屋門、勘定部屋棟、内蔵、土蔵①、土蔵②、キザラ、井戸屋、

　　　　　　　納屋。

　　所在地　大阪府吹田市岸部中４－１３－２１

　天保年間には、淀藩の大庄屋役をつとめた、中西家の住宅である。中西家は、武家の出と

伝わり、近江（現在の滋賀県）より移住してきたと、いわれている。多くの文化人が訪れて、

滞在するなどしたため、絵画などの作品が現在も残されている。中西家の家風として、煎茶道を好んだため、煎茶に関わる道具なども所蔵されている。

　平成１９年（２００７年）に家具や調度品とともに、吹田市に寄贈され、吹田市吉志部文人墨客迎賓館として利用されている。